

## オオタバコガの誘殺数が多い傾向

～ トマトなどの野菜類や花き類での発生に注意してください ～

### 1. 現在までの発生状況と今後の発生予想

県内3か所に設置しているオオタバコガのフェロモントラップへの成虫誘殺数は、8月3半旬に急増しており、横手市では平年並だが、北秋田市、秋田市では平年を上回っている(図-1、2、3)。

8月中～下旬のトマト巡回調査における被害果率は、0% (平年0%) で平年並となっているが、今後、幼虫による食害の拡大が懸念される。

### 2. 防除対策

- 1) 本種の幼虫は、野菜類や花き類の果実、葉、茎及び花蕾を食害する。果実に食入すると商品価値が損なわれ、茎に食入すると成長が阻害される(図-4、5)。
- 2) 施設栽培では、防虫ネットを設置し、施設内への侵入を防ぐ。
- 3) 被害状況をよく観察し、食害痕が確認された場合は、直ちに薬剤により防除する(表-1、2、3)。
- 4) 幼虫の齢期が進み、果実や茎に食入されると薬剤がかかりにくくなることに加え、老齢幼虫に対しては薬剤の効果が低下するので、若齢期の防除を徹底する。

### 3. 資料

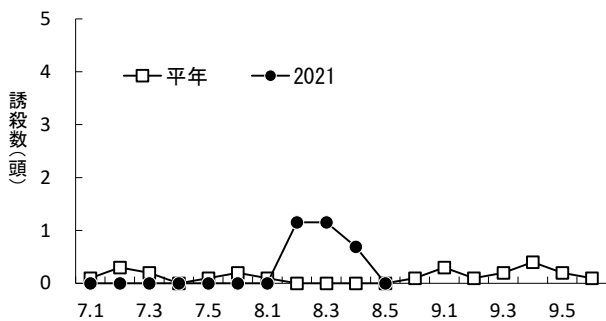


図-1 フェロモントラップによるオオタバコガ成虫の誘殺数(北秋田市) (月. 半旬)

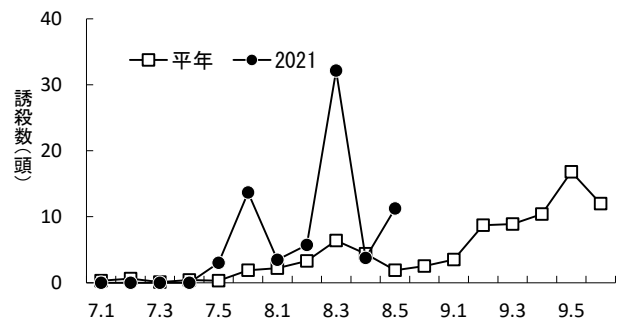


図-2 フェロモントラップによるオオタバコガ成虫の誘殺数(秋田市) (月. 半旬)

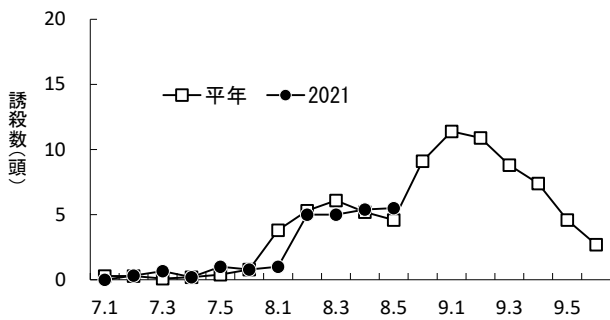


図-3 フェロモントラップによるオオタバコガ成虫の誘殺数(横手市) (月. 半旬)



図-4 トマトの果実の被害



図-5 トマトの茎の被害

表-1 なす科野菜における防除薬剤

分類	農薬名	適用作物					希釈倍数	散布液量
		トマト	ミニトマト	なす	ピーマン	とがらし類		
c	アーデント水和剤	○	○				1,000倍	150～300 L /10a
e	アタブロン乳剤	○	○		○		2,000倍	
j	アフーム乳剤	○	○	○	○	○	2,000倍	
f	エスマルクDF	○					1,000倍	
e	カスケード乳剤	○	○		○		2,000倍	
l	コテツフロアブル	○	○	○			2,000倍	
j	スピノエース顆粒水和剤			○	○		5,000倍	
f	ゼンターリ顆粒水和剤	○		○	○		1,000倍	
f	デルフィン顆粒水和剤	○					1,000倍	
f	トアローフロアブルCT	○			○		500～1,000倍	
l	トルネードエースDF	○					2,000倍	
e	マッチ乳剤	○	○	○	○		2,000倍	
e	マトリックフロアブル	○	○				1,000～2,000倍	

表-2 きくにおける防除薬剤

分類	農薬名	希釈倍数	散布液量
l	アクセルフロアブル	1,000～2,000倍	150～300 L /10a
j	アニキ乳剤	1,000～2,000倍	
j	アフーム乳剤	1,000倍	
e	カウンター乳剤	2,000倍	
l	グレーシア乳剤	2,000倍	
j	スピノエース顆粒水和剤	5,000倍	
i	フェニックス顆粒水和剤	2,000倍	
h	プリンスフロアブル	2,000倍	
l	プレオフロアブル	1,000倍	

表-3 りんどうにおける防除薬剤

分類	農薬名	希釈倍数	散布液量
j	ディアナSC	2,500～5,000倍	150～300 L /10a
i	フェニックス顆粒水和剤	2,000倍	

c:合成ピレスロイド剤、e:昆虫成長制御剤(IGR)、f:BT剤、h:フェニルピラゾール系剤、i:ジアミド系剤、j:マクロライド系剤、l:その他殺虫剤

【 問合せ先 】

秋田県病害虫防除所 TEL 018-881-3660  
 秋田県農業試験場 TEL 018-881-3326  
 掲載HP <https://www.pref.akita.lg.jp/bojo/>